

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市スポーツ・文化総合センター(カルッツかわさき)	評価対象年度	令和7年度
事業者名	・事業者名 株式会社アクサス川崎 ・代表者名 代表取締役 永田 裕人 ・住所 川崎市川崎区宮本町5番地1 バシフィックパレス川崎宮本町204号室	評価者	地域振興課長
指定期間	平成29年10月1日～令和10年3月31日	所管課	川崎区役所まちづくり推進部地域振興課

2. 事業実績

※●は新規事項、○は継続事項

利用実績 (単位:人)	【スポーツ施設】													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
	28,161	26,192	20,917	49,106	32,510	26,281	21,856	28,202	23,319	21,280	17,471	28,014	323,309	
収支実績 (単位:千円)	【文化施設】													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
	19,809	19,344	31,007	35,293	34,889	30,690	22,516	34,427	18,719	14,522	21,576	30,745	313,537	
サービス向上の取組	(単位:千円)													
	収入	指定管理料	412,067											
		利用料金収入	301,485											
		その他	808											
	支出	収入計	714,360											
		管理運営費	683,118											
		支出計	683,118											
収支差額	31,242													
【施設利用者の安全性・利便性を向上したもの】														
●研修室のスライドガラスにミラーフィルムを貼付し、鏡として活用できるようにし、各種運動利用時の利便性向上を図った。														
●熱中症対策として空調設定を28℃台になるよう設定を行うとともに、大体育室・小体育室にてWBGTの計測器を設置し、利用者に数値に合わせた運動強度を促し、利便性、安全性共に向上させた。														
●各種体育施設において、利用者の安全確保の観点から、開館前に床面の状態を定期的に確認し、安全に利用できる環境維持に努めた。														
●ホール及び体育室で実施する公演・イベント情報について、従来の館内掲示や紙媒体に加え、ホームページやSNS等を活用したタイムリーな情報発信を行うことで、利用者が参加しやすい環境を整備し、利用機会の拡大及び利便性の向上につなげた。														
●防災備蓄品について、賞味期限管理を適切に行い、粉ミルク等の更新を実施するなど、災害時においても利用者が安心して過ごせる環境の確保に努めた。														
○コンパクト型加湿器の無料貸し出しを実施し、乾燥対策による快適な利用環境の確保に努めた。														
○トレーニング室の受付前と男女更衣室に足踏み型のアルコール消毒機器を設置した。														
○大体育室の入口に養生シートを張り、出入口を明確化し、履き替えをスムーズに行えるようにした。														
○カーマダウン・クールダウンスペースを確保した。														
【施設利用者からの声をもとに改善したもの】														
●アクトスタジオにおいて、指揮者用譜面台を整備し、利用者の利便性が向上した。														
●施設裏側での喫煙に対し、新たに「禁煙」掲示を行うとともに、イベント主催者への周知徹底及び警備体制を強化した。														
●更衣室の入口について、バリアフリー構造により段差がなく靴を脱ぐ場所が分かりにくいことから、入口での自動音声案内や緑マットの設置等を行い、靴を脱ぐ場所が分かりやすくなるよう改善した。														
●施設予約の抽選参加に係る案内について、説明の充実及び案内資料の記載見直しを行い、周知の改善につなげた。														
●トレーニング室の混雑状況について、Facebookを活用したリアルタイム配信に加え、配信頻度を2時間ごと(1日6回)に強化するとともに、混雑予想マップを作成し、利用者への見える化と利便性の向上に努めた。														
○靴の履き替えの動作を省けるよう、外履きでも土足厳禁エリアに入れるための専用スリッパを各所に配置した。														
【その他】														
●季節に応じた館内装飾を実施するとともに、受付周辺や共用部の空間演出を行い、来館者に親しみやすく快適な施設環境づくりを行った。														

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者満足度調査を適切に実施しているか	6	4 (R6 4) (R5 4)	4.8
		利用者満足度は向上しているか			
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
	事業成果	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	6	4 (R6 3) (R5 3)	4.8
		当初の事業目的を達成することができたか			
	(評価の理由)				
【利用者満足度】 ●スポーツ施設については、団体利用、個人利用(スポーツデー、トレーニング室、弓道場、スポーツ教室)に分けてアンケートを実施し、利用者満足度(「満足」「やや満足」の割合)も前年度(91.6%)を超え92.4%と高い数値を示し、利用者ニーズを踏まえた事業運営や運営改善の取組が高い満足度につながっている。また、結果については、講師にフィードバックするとともに、スポーツデーにおける利用者増加に伴う混雑への対応として整理券の配布や利用時間帯の分散を図るなど運営方法の改善を行ったほか、スポーツ教室においては初心者や一人でも参加しやすい健康体操や親子体操等の多様なプログラムを実施するなど、利用者ニーズを踏まえた事業運営に反映させた。 ●文化施設については、主催事業(鑑賞事業、普及事業、創造事業)で随時、教室事業ではその都度アンケートを実施し、利用者満足度(「満足」「やや満足」の割合)は91.0%と前年度(93.9%)を下回ったものの引き続き高水準を維持している。また、その結果については、満足度の高い講座(モダン盆栽等)の継続実施や子ども向け講座の新規実施など講座内容の見直しに反映させており、多様な世代が文化芸術に触れる機会の充実を図った。					
【事業成果】 ●スポーツや文化、レクリエーション活動の拠点施設として、多様な事業を展開するとともに、国際大会「IJRU World Jump Rope Championship2025」やカルッツフェスティバル等を開催し、ホールと体育館を有する複合施設としての特性を活かした事業運営を行った。特に、カルッツフェスティバルではホール、会議室及び体育館を活用した全館イベントを実施するなど、スポーツ施設と文化施設を一体的に活用した事業を展開した。また、複合施設の特性を活かした多様な事業展開により、多様な利用者層の来館機会の創出及び施設利用の拡大につなげた。 ○富士見公園内施設との連携については、川崎競輪場、富士通スタジアム川崎、富士見公園クラブハウス、公園内店舗等との定期的な情報交換を通じて協力体制を強化するとともに、第1回ふじみ祭りを開催し、富士見公園エリア全体のにぎわい創出及び活性化に寄与した。 ○年々来場者数が増加(R6 535,767人→R7 636,846人)し、過去最高の利用者数になるとともに、スポーツ施設稼働率90.6%、ホール稼働率79.6%など当初の目標値を上回る実績を確保した。また、多様なスポーツ教室やカルチャー教室、文化芸術事業を実施することで、幼児から高齢者まで幅広い世代がスポーツや文化芸術に親しめる機会を提供し、地域のスポーツ・文化振興を担う中核拠点としての役割を果たした。					

収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	6	3 (R6 3) (R5 3)	3.6
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	6	4 (R6 3) (R5 3)	4.8
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	4	3 (R6 3) (R5 3)	2.4
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
(評価の理由) 【効率的・効果的な支出】 ○未使用の諸室における照明や空調の停止に加え、空調運用の見直し等によりエネルギー使用の効率化を図るとともに、計画的な維持管理及び適正な経費管理により、効率的な施設運営に努めた。 【収入の確保】 ●スポーツ施設については、稼働率が低い時間帯を活用した教室事業の実施等により施設利用の促進を図るとともに、文化施設については、興行やイベントの誘致及び利用調整を行うことで空き枠の抑制に努めた。その結果、スポーツ施設・文化施設ともに目標を上回る稼働率を確保するとともに、利用料金収入は前年度から約5,000万円増加するなど、収入の確保及び増加に向けた取組が成果につながった。 【適切な金銭管理・会計手続】 ○会計士による確認のもと適切な会計手続きが行われており、また、スポーツ施設と文化施設の事業ごとの収入・支出についても明確に整理されるなど、適正かつ透明性の高い金銭管理が行われた。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供(施設の利用提供)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	8	4 (R6 4) (R5 4)	6.4
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切なサービスの提供(トレーニング室を含む個人開放事業)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3 (R6 3) (R5 4)	3.6
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切なサービスの提供(教室事業)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3 (R6 3) (R5 3)	3.6
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切なサービスの提供(地域との連携、自主事業等)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	8	4 (R6 4) (R5 4)	6.4
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	6	4 (R6 4) (R5 3)	4.8
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	6	4 (R6 4) (R5 4)	4.8
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)			
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			

組織管理体制	(評価の理由) 【適切なサービスの提供、拡充(施設の利用提供)】 ●スポーツ施設については、市民大会、一般団体利用、トレーニング室及び教室利用において、安全で利用しやすい施設運営に努めるとともに、利用環境の向上を図った。また、稼働率向上に向けた利用促進に取り組んだ結果、諸室全体の稼働率は90.6%となり、前年度(89.4%)を上回るとともに、目標である85%を達成した。 ●文化施設については、利用前の打合せにおいて利用方法等の説明を丁寧に行うとともに、利用確認表や案内資料を活用し、利用者への適切な情報提供及び円滑な施設利用の支援に努めた。その結果、ホール稼働率は79.6%となり、前年度(76.2%)及び目標(67%)を上回り、多くの利用につながった。 【適切なサービスの提供(トレーニング室を含む個人開放事業)】 ○トレーニング室については、体組成測定の実施や利用案内の充実により利用者サービスの向上を図るとともに、SNSによるリアルタイム配信や混雑予想マップを活用した情報発信により利便性の向上及び継続利用の促進に努めた。その結果、1日平均170.0名(前年度157.1名)の利用があり、目標値(150名)を達成した。 ○スポーツデーについては、卓球、バドミントン、バスケットボールに加え、健康体操、親子体操、アロマストレッチ等、初心者や幅広い世代が参加しやすいプログラムを実施し、多様なスポーツ機会の提供に努めた。毎月平均参加者数は1,910名となり、前年度(1,917名)とほぼ同水準を維持したものの、目標値(2,000名)には届かなかった。また、カローリング・ボッチャ教室については、充足率95.3%と高い水準を維持し、幅広い世代の参加につながった。 【適切なサービスの提供(教室事業)】 ●スポーツ教室事業では、アクティブ、調整、スポーツ競技、高齢者、親子・キッズ・ジュニアなど多様な分野の教室を設定するとともに、川崎ブレイブサンダースのバスケットボール教室などを継続して実施し、59教室(前年度58教室)を開催した。スポーツ教室全体の充足率は58.3%となり目標(65%)には届かなかったものの、の大人向け教室では人気レッスンの増設等により平均充足率82%と高い水準を維持した。 ●カルチャー教室事業では、「モダン盆栽」等の人気講座を継続実施するとともに、子ども向け講座の充実や落語講座の新規実施、文化財団と連携した能講座の開催など講座内容の充実を図った。また、成果発表の機会を設けるなど学習意欲の向上につなげた結果、充足率は84.3%となり、前年度と同水準を維持するとともに、目標(70%)を大きく上回った。 【適切なサービスの提供(地域との連携、自主事業等)】 ●「スポーツの日記念事業」では、スポーツデー・スポーツ教室、トレーニング室及び弓道室の無料開放に加え、バラスポーツ大会や体験会を実施した。現役選手や著名な指導者等による体験機会の提供により、幅広い世代の参加につながった。 ○川崎区のボッチャ熱の高まりを受け、第2回カルッツ杯ボッチャ大会を開催するとともに、カローリング・ボッチャ体験会を継続実施し、市民がスポーツに親しむ機会の充実を図った。 ○Vリーグ(NECレッドロケッツ)やTリーグ(木下テーブルテニスクラブ)のホームゲームを開催し、市民がトップアスリートのプレーを観戦できる機会を継続して創出した。 ●鑑賞事業として、ジャズや落語など多様な公演を実施するとともに、市民が気軽に文化芸術に触れる機会の充実を図った。また、ウィズ・ミュージズシリーズやレクチャーコンサート等の自主事業を実施し、多様なニーズに対応することで、文化施設の魅力向上及び利用促進につなげた。 【業務改善によるサービス向上】 ●館内掲示や案内表示について、利用者からの問合せや案内時の課題を踏まえ、抽選案内や注意喚起POP等の内容・配置を見直すとともに掲示物の整理を行い、分かりやすい案内表示となるよう改善を図った。 ●職員対応について、接客マナーの定期的な確認や苦情対応マニュアルの共有を行い、案内内容や対応手順の統一を図ることで、サービスの均質化及び利用者対応力の向上を図った。 【利用者の意見・要望への対応】 ○ご意見BOXを1階エントランスロビー、地下スポーツエントランス及びホールロビー階に継続設置し、利用者の意見・要望の収集及び把握に努めるとともに、寄せられた意見を踏まえた運営改善を行った。 ○ホール利用に際し、利用者の求めるレベルに応じた適切な打合せ・下見の調整及び実施を行った。打合せでは利用確認表に基づき必要事項を確認するとともに、施設利用方法の説明や資料配布を行うことで、利用者との認識共有を図り、安心して利用できる環境づくりに努めた。				
	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	8	3 (R6 3) (R5 3)	4.8
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	8	3 (R6 3) (R5 3)	4.8
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)			
		緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか			
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	4	3 (R6 3) (R5 3)	2.4
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか			
	環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか			
	市内中小企業の活用	指定管理者の選定時に、業務の一部委託において市内中小企業を再委託者として選定することを理由に加点した場合、実際の運営において市内中小企業者を選定しているか			
	(評価の理由) 【適正な人員配置、連絡・連携体制】 ○各業務において、必要な人員を適切に配置するとともに、専門性や経験を考慮した人員配置を行い、安定した施設運営を実施した。 ○所管課とは月1回のモニタリング会議を実施するほか、課題発生時には適宜打合せを行い、情報共有及び連携強化を図った。また、施設内においては週1回の責任者・担当者会議を開催し、課題対応や運営状況の確認を行った。さらに、月1回SPC社長や本社担当者を変えた会議及びホール運営に関する共同企業体会議を実施し、事業報告や課題の共有を図った。 【再委託管理】 ○設備・警備・清掃の各部門と日々の朝礼により情報共有を行うとともに、業務の履行状況を確認し、適正な管理に努めた。 【担当者のスキルアップ】 ●休館日を活用し、運営企業各社にて各担当業務の研修を実施したほか、防災訓練として避難誘導訓練や消火器・消火栓の取扱いを習得するなど、職員の知識及び技能の向上に努めた。加えて、令和7年度は新たに個人情報保護やカスタマーハラスメント対応、電話・窓口応対に関する研修を実施し、利用者対応力及び法令遵守意識の向上を図るとともに、安全管理体制の強化につなげた。 【安全・安心への取組】 ○緊急時対応マニュアルの整備等により安全管理体制を構築するとともに、計画どおり訓練を実施し、事故やトラブル発生時には迅速に対応した。また、熱中症対策としてWBGT計測器を設置し、利用者への注意喚起や適切な空調設定を行うなど、安全・安心な利用環境の確保に努めた。 【コンプライアンス】 ○利用申請書や各種申込書等により取得した個人情報について、個人情報保護管理規程に基づき適切に管理するとともに、コンプライアンス規程の周知徹底を図り、法令遵守に基づいた適正な運用を実施した。 【職員の労働条件・労働環境】 ○労働基準法等各種法令に基づいた勤務体制で運営を行うとともに、衛生管理者による職場環境パトロールを定期的に実施し、安全で働きやすい職場環境の維持に努めた。 【環境負荷の軽減】 ○環境負荷の低減及び省エネルギー対策として、設備データの一元管理及び分析に基づき、空調機を系統ごとに停止するなど、きめ細かな運転管理を実施し、運転時間及び熱源負荷の削減に努めた。また、降雨量の影響等により雨水利用量は減少したが、引き続き資源の有効活用に努めた。 【市内中小企業の活用】 ○清掃業者、設備の保守管理を中心に市内中小企業を活用している。				

適 正 な 業 務 実 施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか。	6	3 (R6 3) (R5 3)	3.6
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか。			
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか。	6	3 (R6 3) (R5 3)	3.6
	外構・植栽管理	外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか。			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか。			
	(評価の理由) 【施設・設備の保守管理、管理記録の整備・保管、清掃業務】 ○定期的に施設・設備の点検を実施、不具合等発生時には早期に正を行うことで、施設機能の維持に努めた。また、業務日誌・点検記録・修繕履歴等を適切に整備・保管した。 ○清掃業務については、日常清掃及び定期清掃を適切に実施し、快適に利用できる環境の維持に努めた。 【警備業務、外構・植栽管理、備品管理】 ○警備業務は、警備員による24時間365日の有人警備で、防犯モニター監視及び巡回業務を実施し、駐車場内外の車両事故発生時についても適切に対応した。また、休日などのイベント開催時の駐車場満車対応のための警備員を車両出入口に配置した。 ○外構・植栽エリアの除草及び剪定作業を適宜実施し、良好な景観及び緑環境を維持した。 ○備品管理については、定期的な点検・調整を行い、常に良好な状態で利用できるよう維持管理に努めた。				

4. その他加点

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
その他加点	市の政策課題への取組	かわさきパラムーブメント、若者文化及び地域連携によるエリア活性化に関する取組			4.0
	(評価の理由) ●パラムーブメントの取組として、一般貸出用車いすを新たに配備し、高齢者や障がいのある方を含めた多様な来館者が安心して利用できる環境を整備することで、誰もが利用しやすい施設運営の推進につなげた。 ●ダウン症のある方を中心とした国内最大級のダンス団体「LOVE JUNX」によるダンス公演「BREAK THE WALL 23」の誘致に当たり、関係者との調整や受入体制の整備等を行い、円滑な実施を実現した。約250名の出演者と900名の来場者を迎える事業を通じて、多様な人々が参加・交流できる機会を創出するとともに、文化芸術の普及及びかわさきパラムーブメントの推進につなげた。 ●田島支援学校においてアウトリーチコンサートを実施し、学校との調整や受入環境の整備等を行い、円滑に実施した。障がい者施設でのアウトリーチは初の取組であり、音楽とダンスを組み合わせたプログラムを通じて、文化芸術に触れる機会の創出及び多様な人が参加できる機会の拡充につなげた。 ○3月に開催された「カルッツフェスティバル2026」の一環として、ストリートダンスイベント「ダンスエキシビション」を実施した。計24組253名が参加し、前回を上回る規模となった。出場費の減額や招待券配布など、前年度の指導事項を踏まえ参加しやすい環境を整備し、中高生を中心とした若者の発表機会及び交流機会を創出するとともに、若者文化の振興と施設のにぎわい創出につなげた。 ●若年層を中心に人気の高いジャンプロープ競技の国際大会「世界ジャンプロープ選手権大会」の開催に当たり、会場運営や来場者対応等に係る各種調整を行い、円滑な大会運営に協力した。約3万人規模の来場者を迎える大規模イベントを通じて、新たなスポーツ文化の発信及び若者文化の振興に寄与するとともに、施設の受入機能及び運営能力の向上につなげた。 ●富士見公園において、カルッツかわさきが主導のもと第1回「ふじみ祭り」を開催した。スポーツ体験や健康イベント等の多様なプログラムを各施設が連携し、スタンプラリーにより来場者の回遊を促進し、公園全体のにぎわい創出及びエリア活性化につなげた。				

5. 総合評価

評価点合計	73.2	評価ランク	B
		(R6 70.8)	(R6 B)
		(R5 69.8)	(R5 C)

※評価ランクの適用基準

評価ランク	適用基準(評価点合計)
A	総合評価の結果、特に優れていると認められる。(80点以上)
B	総合評価の結果、優れていると認められる。(70点以上80点未満)
C	総合評価の結果、適正であると認められる。(60点以上70点未満)
D	総合評価の結果、改善が必要であると認められる。(50点以上60点未満)
E	総合評価の結果、問題があり適切な措置を講じる必要がある。(50点未満)

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

○川崎市のスポーツ・文化・レクリエーション活動の拠点施設としての役割を十分に認識し、民間の創意工夫やノウハウを活用した運営により、多くの市民に親しまれる施設運営が図られた。また、利用者数の増加や高い施設稼働率を維持しており、安定した運営と高い集客力が認められる。 ○スポーツ施設においては、「市民のための体育館運営」を第一とし、市民を中心に様々なスポーツをプレーする機会を提供に加え、トップアスリートを観る機会を創出するなど、多様なスポーツ環境の整備が図られた。さらに、ポッチャ大会の開催等を通じて競技への関心を高め、川崎区における普及と定着に寄与した。 ○文化施設においては、「市民が集い、創造し、賑わいあふれるホール」として、市民の多様な活動の場を提供するとともに、各種公演や発表の機会の創出により、文化芸術の振興が図られた。特に、「ダンスエキシビション」は、ダンスを披露する機会の少ない若者等到大変好評であったことから、川崎市が推し進める「若者文化」の推進に大きく寄与した。
--

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

○引き続き富士見公園のスポーツ・文化・レクリエーション活動の拠点として、市民の利便性向上を図るとともに、富士見公園内の近隣施設とさらに連携し、プラザの積極的かつ多様な活用を推進することにより、富士見地区一帯のさらなる活性化につながる取組を検討していくこと。また、イベント時にとどまらず、平常時における利用促進や来館機会の創出についても意識した取組を検討・推進していただきたい。また、ポッチャ大会の運営における総合型地域スポーツクラブとの連携については、活動支援の一助となっていたが、今後は総合型地域スポーツクラブに加え、地域で活動する団体等とも一層の協働を進め、地域におけるスポーツ・文化活動の定着や発展に寄与していただきたい。さらに、子どもや中高生等の次世代の活動機会や発表の場の創出など、若者の参加促進に向けた取組について引き続き検討を進めていただきたい。 ○スポーツ施設では、年齢や性別、障害の有無に関わらず、誰もが生涯にわたって日常的にスポーツに親しみ、楽しむことができ、体力の維持向上や健やかな心身を育むことを目指し、効果的な広報に努め、スポーツデーなどの参加者の増加に向けてプログラム内容の見直し等検討するとともに、スポーツ選手の活躍する姿に感動したり、応援する楽しさを感じたり、「スポーツをする」機会を提供するだけではなく、「観るスポーツ」の機会創出にも引き続き取り組んでいただきたい。また、世界ジャンプロープ選手権大会の開催を通じて蓄積された運営ノウハウや受入実績を活かし、今後も大規模スポーツイベントを安定的に誘致できるよう取り組んでいただきたい。 ○文化施設では、音楽をはじめとして、歴史や伝統文化、若者文化など市内の文化芸術資源を活かしたまちづくりを推進するため、多様な団体等と連携して障害の有無に関わらず老若男女問わず、多様な市民が身近に文化芸術に親しみ、演奏を楽しめる環境を引き続き創出すること。文化施設の稼働率向上に向け、会議室や練習室等の中小規模利用の促進や平日利用の掘り起こしなど、利用拡大に向けた取組を進めていただきたい。また、気軽に良質な音楽を楽しめるウイズ・ミュージズシリーズや、アウトリーチ事業については、対象施設や地域の拡充を図りながら着実に継続していただきたい。さらに、スポーツ施設と同様、「かわさきパラムーブメント」の推進に寄与できるようなコンテンツや、ダンスエキシビション等の若者向け事業については、参加しやすい環境整備等継続的に発展させ、若者の活動・発表機会の創出を通じて、本市が推進する「若者文化」のさらなる醸成につなげていただきたい。
--